

# 2020年度就職・採用活動に関する 調査結果（大学等）【速報版】

令和2年10月

# 調査概要

調査目的

就職・採用活動の状況を把握し、今後の就職・採用活動の円滑な実施の検討に資する。

調査主体

文部科学省（就職問題懇談会と協力して実施。）

実施方法

対象：全国の大学、短期大学、高等専門学校 合計1, 175校

方法：WEB調査

期間：2020年10月6日(火)～10月12日(月)

回答率

有効回答件数： 886件（就職活動を行う学生が在籍していない大学等31校含む）

回答率： 75.4%

属性

## ① 学校種別

調査数	国立大学	公立大学	私立大学	公立短期大学	私立短期大学	高等専門学校
886	59	73	511	14	186	43
100.0%	6.5%	8.3%	57.7%	1.6%	21.0%	4.9%

## ② 地域

調査数	北海道・東北	関東 (東京以外)	東京	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
886	94	130	154	156	155	87	102
100.0%	10.6%	14.7%	17.4%	17.6%	17.5%	9.8%	11.5%

(注)この「速報版」における「大学等」とは、大学、短期大学及び高等専門学校である。

# 就職問題懇談会の「申合せ」の内容の周知状況等

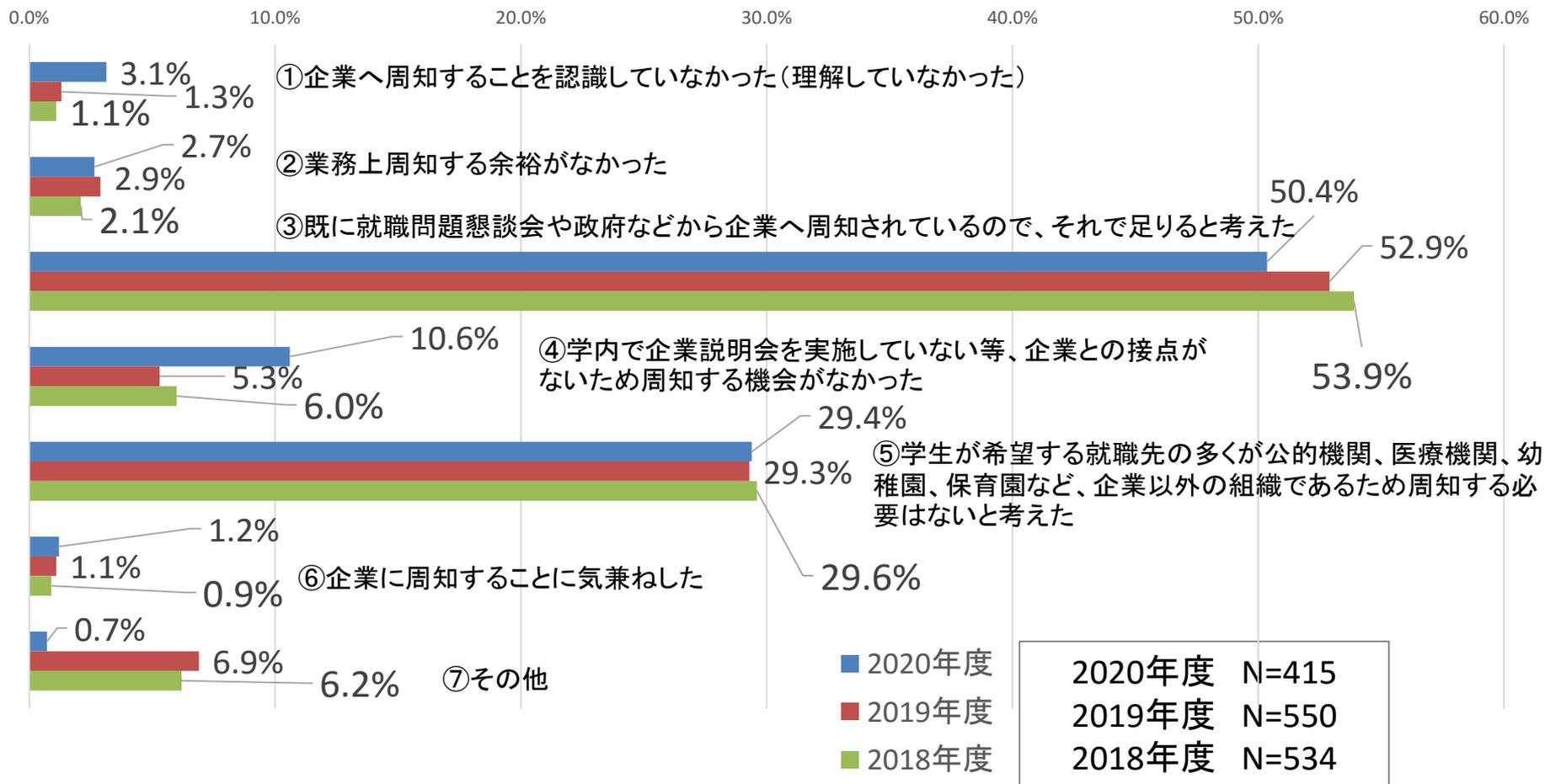
## <周知状況(N=856)>

「周知した」 51.4% (前年度比+3.1ポイント)

## <周知なかった理由>

「既に就職問題懇談会や政府から企業へ周知を行っているので、それで足りると考えた」 50.4% (▲2.5ポイント)

「学生が希望する就職先の多くが公的機関、医療機関、幼稚園、保育園などの企業以外であるため必要がない」 29.4% (+0.1ポイント)



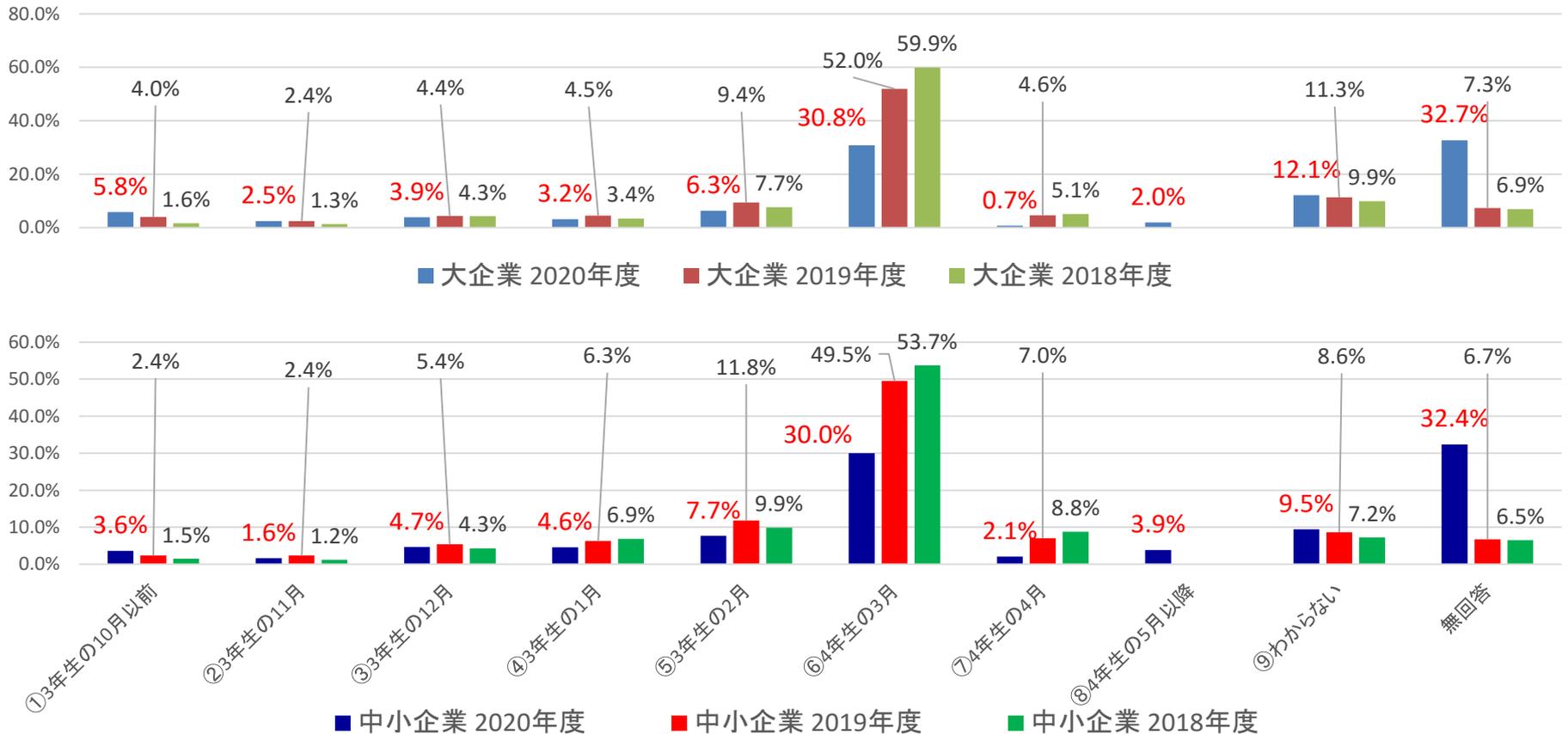
※周知していないと回答した415校に質問

# 広報活動開始時期（大学等の認識）

## ＜企業が広報活動を開始した時期＞

回答のあった中で最も多い回答は、「3月」であり、  
大企業は30.8%、中小企業は30.0%

2020年度N= 856  
2019年度N=1,106  
2018年度N=1,091



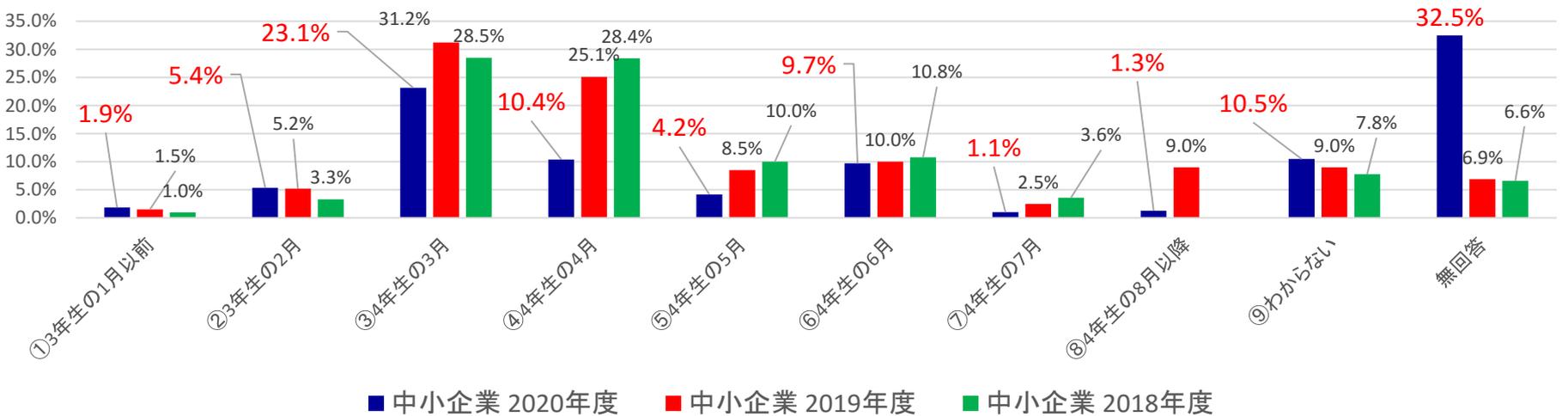
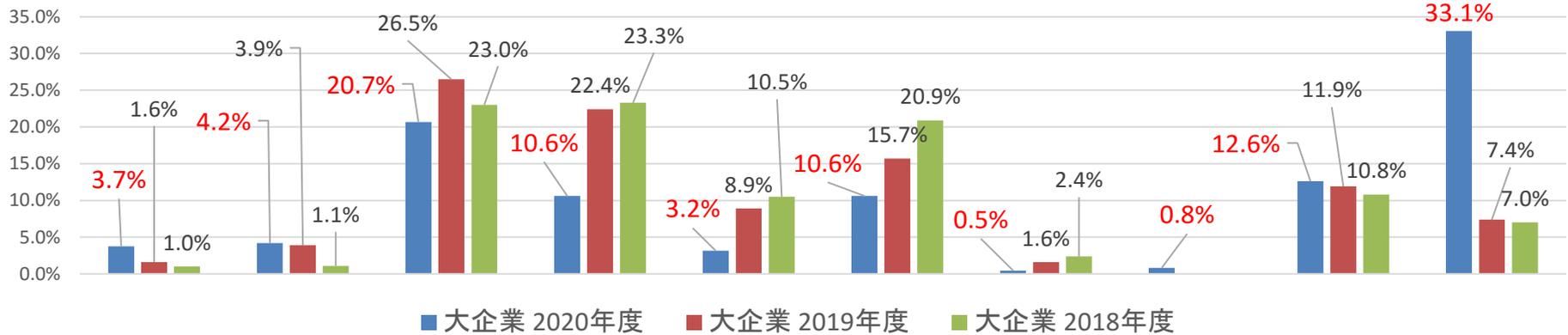
# 採用選考活動開始時期（大学等の認識）

## ＜企業が採用選考活動を開始した時期＞

回答のあった中で最も多い回答は、「3月」であり、

大企業は20.7%、中小企業は23.1%

2020年度N= 856  
2019年度N=1,106  
2018年度N=1,091

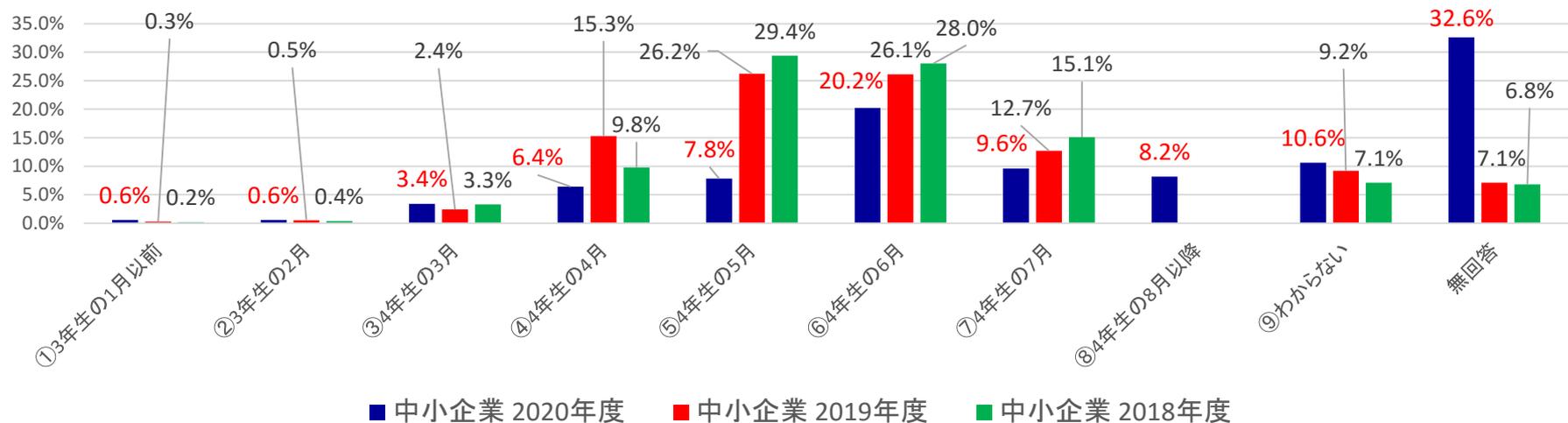
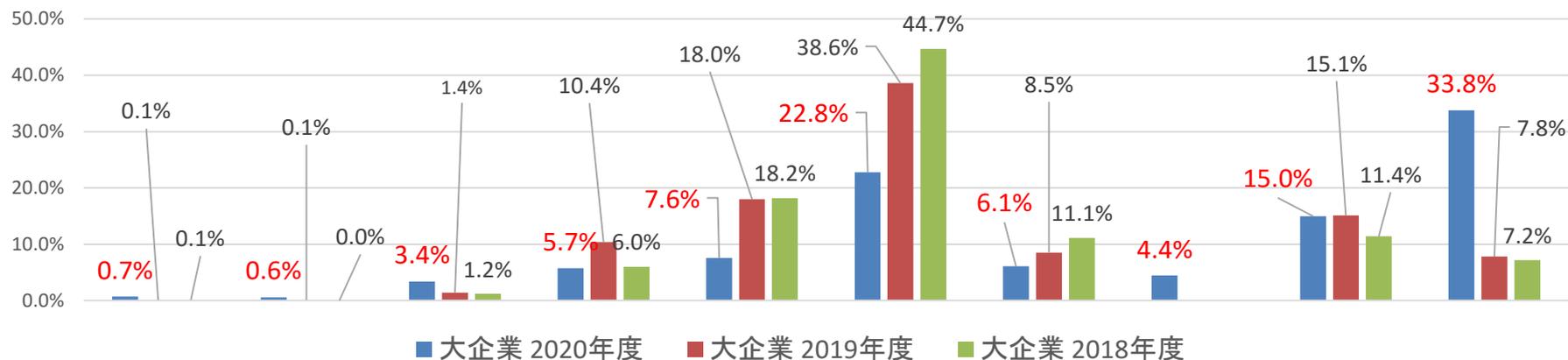


# 学生が内々定を得た時期（大学等の認識）

## ＜学生が内々定を得た時期＞

回答のあった中で最も多い回答は、「6月」であり、  
大企業は22.8%、中小企業は20.2%

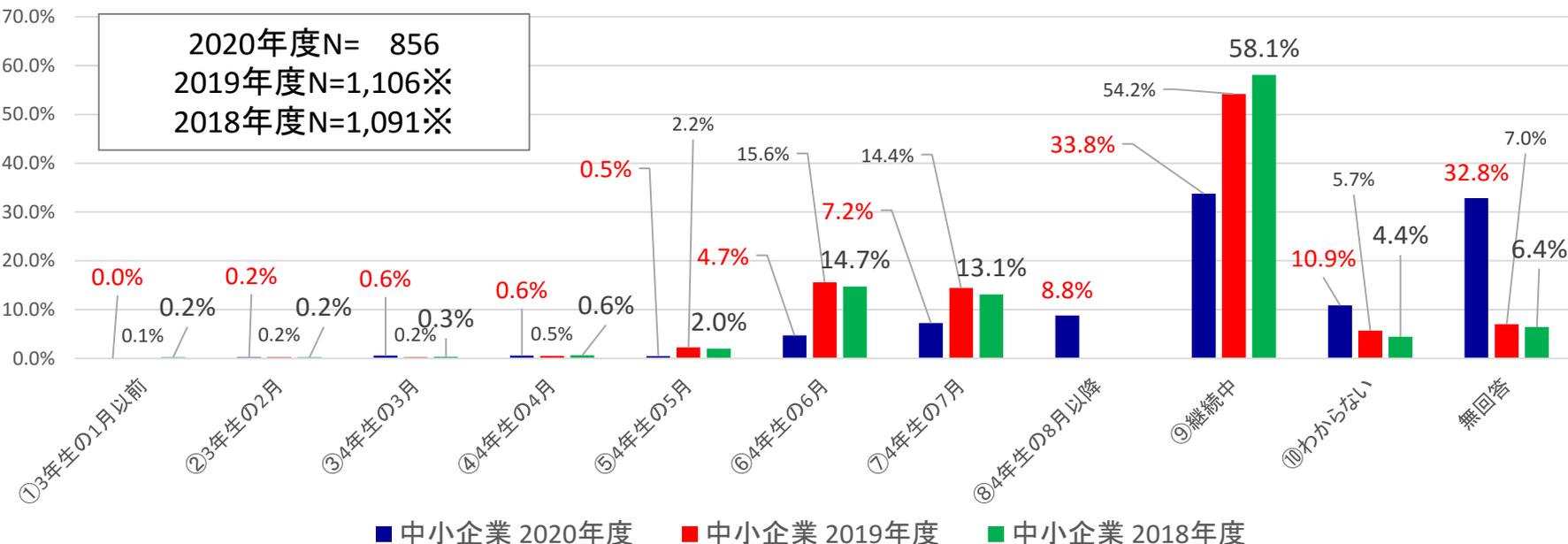
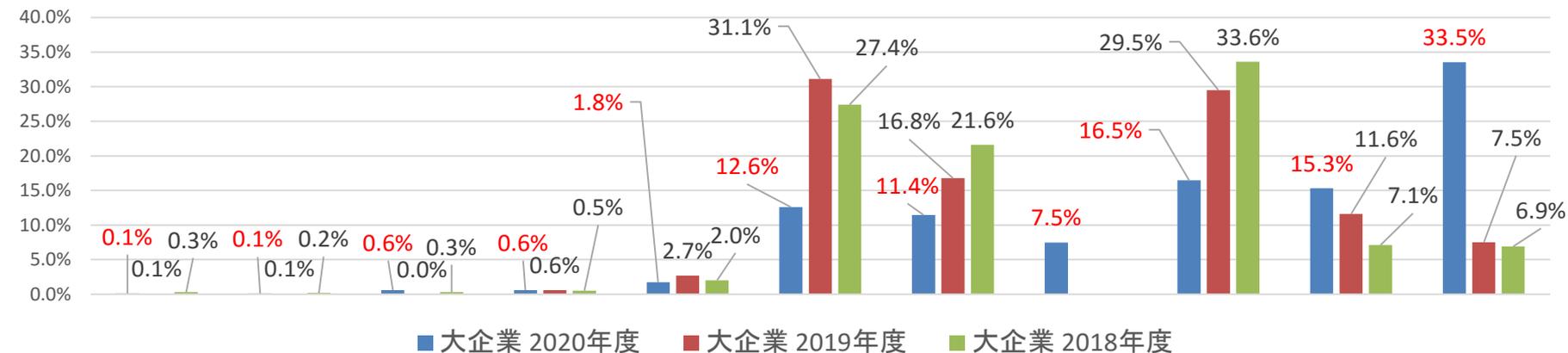
2020年度N= 856  
2019年度N=1,106  
2018年度N=1,091



# 学生が就職活動を終了した時期（大学等の認識・9月1日時点※）

## <学生が就職活動を修了した時期>

回答のあった中で最も多い回答は、「継続中」であり、大企業は16.5%、中小企業は33.8%



※2019年度と2018年度は8月1日時点

# 就職・採用活動の開始時期が設定されていることについて

＜就職・採用活動の開始時期が設定されていることについての考え＞（ ）は昨年度

「現在の開始時期が良い」	57.4% (45.9%)
「どちらともいえない」	20.3% (24.8%)
「広報活動は自由に開始したほうが良い」	9.0% (4.0%)
「いずれの開始時期も自由に設定したほうが良い」	2.9% (4.2%)
「採用選考は自由に開始したほうが良い」	3.4% (2.9%)

2020年度N= 856  
2019年度N=1,106